

## 6. 科学する心を見つけよう 常磐会短期大学附属常磐会幼稚園(大阪府大阪市)

### はじめに

本園では子どもが自ら考え遊びを作り出せるよう日頃から保育に当たっているが、自然とのかかわりだけではなく、日々の生活や遊びの中にも子どもたちが『科学する心』に出あえる機会があるのではないかと思い、今一度本園の保育を『科学する心』という視点から見つめなおしてみることにした。具体的に子どもの遊びから事例を集め、子どもの遊びの様子やことば、環境へのかかわりや教師の援助によって様々な『科学する心』がはぐくまれていることを見つけていきたいと思った。

そこで3年間というスパンの中で少しずつ『科学する心を育てる』研究を進めていこうと計画した。1年ごとにねらいをもつことで教師間でより具体的な目あてをもつことが出来るのではないかと次のように考えた。



### 科学する心を育てる

1年次；科学する心を見つけよう

2年次；科学する心の芽生えを育もう

3年次；科学する心を育てくらしの中でいかしていこう

### 1年次『科学する心を見つけよう』

子どもたちに『科学する心』が芽生えていくことを見つけるためには、子どもの生活を豊かにする、保育環境や教師の適切な援助が大切ではないかと考え、今年の研究目標を『科学する心を見つけよう』と設定した。

私たちは『科学する心』を子どもたちが、さまざまな出あい感動する心・人やもの、出来事とときめく心・物事を順序立てて考え判断する心・緻密な作業の中で気づき表現する心・遊びの楽しさを味わったことでなぜ? どうして? とさらに探求する心ととらえ、これらの心は、子どもたちに望む姿として育てていきたいと願い研究を進めていくことにした。

### 『科学する心の芽生えを見つける』ための具体的な手立てとして、4つの研究実践を窓口として設けた

- 1、日常的な保育場面をとおして
  - 子どものことばや遊びを通して科学性の芽生えを見つけよう
- 2、園内で行う様々な行事を通して
  - 月毎の誕生会から
  - 様々な人とのふれ合う機会から
- 3、きめ細かな保育研究を通して
  - 遊び環境から
  - 教師の支援のあり方から
- 4、年長のクラブ活動を通して
  - 遊びの中から科学性につながる知的な遊び



### 4つの研究の窓口において『科学する心を見つける』5つの観点

- 1、When どのような場面・時期
- 2、Who 何歳児であったか
- 3、Where 環境構成はどうであったか
- 4、What 何が育っていったか
- 5、How 今後の展開、教師の援助はどうであったか

### ポイント

今まで考えていた自然とのかかわりだけが科学なのではなく、園の日常に、実は多くの「科学する心」があるのではと、自園の保育を振り返り、「科学する心」を3年計画で見つめ直そうとしています。1年目の今年は、さまざまな保育場面から「科学する心」を5つの観点から読み取ろうとしています。